

平成23年度第1回 福祉医療費助成制度に関する研究会 議事要旨

1. 日 時 平成23年6月1日(水) 10:00～11:15

2. 場 所 大阪府庁別館6階 市町村会館第2号会議室

3. 研究会メンバー
- 大阪府市長会を代表する者
 - 藤井寺市 健康福祉部長
 - 岸和田市 保健福祉部長
 - 貝塚市 健康福祉部長
 - 大阪市 生活福祉部部長
 - 池田市 子育て・保険部長
 - 寝屋川市 保健福祉部長
 - 大阪府町村長会を代表する者
 - 河南町 健康福祉部長
 - 能勢町 民生部長
 - 忠岡町 欠席
 - 大阪府
 - 福祉部国民健康保険課長

4. 議事概要

第1回の研究会開催に当たって、大阪府福祉部国民健康保険課長よりあいさつがあった。

(1) 座長の選出について

出席者の互選により、藤井寺市健康福祉部長を座長に選任した。

(2) 研究会の進め方について

事務局から、資料2により平成22年度に決定した「検討の進め方について」を再確認した上で、資料3に沿って「抜本の見直しに向けた検討スケジュール(案)」と平成23年度においては2つ(対象者のあり方及び給付と負担のあり方)のワーキンググループ(WG)を設置し検討することについて説明し、原案どおり決定した。

また、座長から、WGのメンバーがどちらのWGに主に携わるかについて、名簿順に交互に指定してはどうか提案があり、その提案どおり決定した。

(3) 検討事項及び今後の検討スケジュールについて

事務局から、資料4に沿って検討事項について説明し、意見交換を行った。

その後、資料5に沿って、平成23年度における研究会・WGの開催予定案を説明し、原案どおり決定した。

(4) 上記(3)に係る委員からの発言

- ・ 乳幼児医療にかかる府の補助対象年齢については、全国平均と比べて低いことから引き上げるべきでないか。
- ・ 乳幼児医療以外の医療についても、市民生活に非常に関連が深いので、しっかり議論する必要がある。
- ・ 府の乳幼児医療の対象年齢や所得制限の設定については、前向きに検討してほしい。
- ・ 乳幼児医療については、本来、府内で統一されるべきだ。
- ・ 四医療全体としては、持続可能で一貫した制度となるよう検討する必要がある。
- ・ 市町村では制度によって所得制限があつたりなかつたりで、整合性がない部分の検討に加えて、市民感覚や実務面も考慮する必要がある。

- ・ 福祉医療費助成制度は、本来、国の制度として整備してほしい。
- ・ 制度上、一定の所得制限は理解できる。
- ・ 医療保険等の国制度の動向を見極める必要がある。
- ・ 老人医療と障がい者医療については、団体からの要望もあることから、精神障がいや特定疾患のある方など対象者の範囲を検討する必要があるのではないか。
- ・ 薬剤の窓口負担は、院内・院外の整合性を検討する必要がある。
- ・ 入院時食事療養費は在宅との整合性を検討する必要がある。

以 上